

1. 科目名 (単位数)	医学概論 (小児保健を含む) (2 単位)	3. 科目番号	EDHE2317						
2. 授業担当教員	橋本 由利子								
4. 授業形態	講義、ディスカッション、ならびに意見発表	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	原則として、「解剖生理学」履修後または履修中であること								
7. 講義概要	<p>この講義は、総合社会科学としての医学の側面についても触れ、生活の質 (QOL) を豊かにする保健・医療・福祉のあり方についても学び、乳・幼・小児の保育・教育にかかわる専門職者として要求される最低限の医療、医学の知識の習得を目標とする。さらに、最新の健康情報の検証も行う。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達や日常生活との関係を踏まえて理解する。</li> <li>●小児の発達とリスク因子について理解する。</li> </ul>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心身の機能と身体構造、および様々な疾病や障害の概要について、人の成長・発達・老化と日常生活との関係を踏まえて理解できるようになる。</li> <li>2. 乳・幼・小児の健全な発達に寄与する方策が理解できるようになる。</li> <li>3. 生活習慣病とその予防につき、小児の段階における健康増進の正しい方策について考察できるようになる。</li> <li>4. 医学の基本的知識を深め、最新の医学・医療への関心を高める。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>その日に学習したことを整理するために、毎回ワークシートを提出する。</p> <p>レポート課題：自分が興味を持った疾患について、その概要、治療法、予防法、致死率、患者数およびなぜその疾患に興味を持ったかなどをまとめなさい (1600 字程度)。なおレポートは添削して返却するので必ず書き直して再提出する。</p> <p>研究発表：レポート課題で調べた内容について、わかりやすく発表しなさい。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新・社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講 1 医学概論』中央法規、2021。 中根淳子・佐藤直子編著 『子どもの保健』 ななみ書房。</p> <p>【参考書】澤口彰子・他著 『人体のしくみとはたらき』朝倉書店、2015。 北村論著 『医学概論 改訂 7 版』 中外医学社、2020。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人体の機能と疾病について、基本的事項を理解しているか。</li> <li>2. 疾病の予防、治療、リハビリテーションの方策について理解しているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題レポート・発表</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験</td> <td>40%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)	30%	2. 課題レポート・発表	30%	3. 期末試験	40%
1. 授業への積極的参加 (授業態度、発言)	30%								
2. 課題レポート・発表	30%								
3. 期末試験	40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>この科目では、医学・医療の歴史を知るとともに、人体の構造と機能、臨床医学の各疾患や、現在の日本の健康問題について理解を深めます。少子高齢社会において、学校保健関係者は保健・医療専門職者等と連携して、児童生徒、その保護者、教職員等が健康で質の高い豊かな生活を送れるように支援することが求められます。ニュースなどのメディアが報じる健康に関するニュースにもぜひ目を向けてください。様々な健康問題の解決策を自ら学び取る姿勢を身に付けましょう。</p> <p>[受講生に期待される学習態度]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業は常に高い緊張感と集中力をもって受講すること。学生の積極的な態度が望まれる。</li> <li>2. 授業中、授業外に進んで教師に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。</li> <li>3. レポートの提出期限は厳守すること。事情によって提出日に間に合わない場合は講師にそのことを文書で伝え許可をとるようにする。</li> <li>4. 授業中の私語、携帯電話の使用は絶対にしないこと。守れない場合は退室のこと。</li> </ol> <p>[講師は次のことを実行する]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。</li> <li>2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話をするとともに専門用語はわかりやすく説明する。</li> <li>3. 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用については厳格に対処する。</li> </ol>								
13. オフィスアワー	授業開始時にお知らせします。質問はメールでも受け付けます。yuhashim@ed.tokyo-fukushi.ac.jp								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション 医学の歴史と医の倫理	事前学習	シラバスを読んでくる						
		事後学習	医学の歴史・医の倫理について復習し、ワークシートを提出する						
第 2 回	ヒトのからだの成長と発達	事前学習	ヒトのからだの成長と発達について考えてくる						
		事後学習	ヒトのからだの成長と発達について復習し、ワークシートを提出する						
第 3 回	先天性疾患について	事前学習	先天性疾患について考えてくる						
		事後学習	遺伝要因、胎児要因、周産期要因について復習し、ワークシートを提出する						

第4回	身体構造と心身機能	事前学習	身体構造と心身機能について教科書を読んでくる
		事後学習	身体構造と心身機能について復習し、ワークシートを提出する
第5回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 小児疾患	事前学習	小児疾患について教科書を読んでくる
		事後学習	小児疾患について復習し、ワークシートを提出する
第6回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 循環器疾患、呼吸器疾患	事前学習	循環器疾患、呼吸器疾患について教科書を読んでくる
		事後学習	循環器疾患、呼吸器疾患について復習し、ワークシートを提出する
第7回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 消化器疾患、代謝・内分泌疾患	事前学習	消化器疾患、代謝・内分泌疾患について教科書を読んでくる
		事後学習	消化器疾患、代謝・内分泌疾患について復習し、ワークシートを提出する
第8回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 腎臓・泌尿器疾患、婦人科・妊産婦疾患	事前学習	腎臓・泌尿器疾患、婦人科・妊産婦疾患について教科書を読んでくる
		事後学習	腎臓・泌尿器疾患、婦人科・妊産婦疾患について復習し、ワークシートを提出する
第9回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 血液・造血器疾患、運動器疾患	事前学習	血液・造血器疾患、中毒性疾患、運動器疾患について教科書を読んでくる
		事後学習	血液・造血器疾患、運動器疾患について復習し、ワークシートを提出する
第10回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 神経・筋疾患、精神疾患	事前学習	神経・筋疾患、精神疾患について教科書を読んでくる
		事後学習	神経・筋疾患、精神疾患について復習し、ワークシートを提出する
第11回	疾病と障害およびその予防・治療・リハビリテーション 感染症	事前学習	感染症について教科書を読んでくる
		事後学習	感染症について復習し、ワークシートを提出する
第12回	主要な疾患とその対応 学生発表	事前学習	今まで学習した疾患について復習してくる
		事後学習	発表を聞き、疾患について整理する
第13回	主要な疾患とその対応 学生発表	事前学習	今まで学習した疾患について復習してくる
		事後学習	発表を聞き、疾患について整理する
第14回	公衆衛生の概要と健康増進・保健医療対策	事前学習	公衆衛生の概要と健康増進・保健医療対策にはどのようなものがあるか教科書を読んでくる
		事後学習	公衆衛生の概要と健康増進・保健医療対策について復習し、ワークシートを提出する
第15回	まとめ	事前学習	今まで学習したことを振り返り、現在の医学にはどのような問題があるか考えてくる。
		事後学習	この科目全体について学習したことをまとめる
期末試験			